

議案第 32 号

工事請負契約（土砂災害特別警戒区域（急傾斜地）対策工事（その1））の変更について

資料1 変更内容及び理由について

1 変更経緯

施工時の現場条件や施工手順の見直しを踏まえ、下記のとおり設計変更を行う。

（当初請負金額 216,260,000 円、前回変更請負額 236,813,500 円、今回変更請負額 229,846,100 円、6,967,400 円の減額）

2 変更内容および理由

（1）補強土工における削孔機の変更（約 6,140 千円減）

鉄筋挿入工の機械選定において、積算基準では、挿入鉄筋長さ 5.0m 以上になると、より大型の機械を使用することとなっている。

今回、挿入鉄筋長さ 5.5m の 180 本について、現場の地質条件により実際の施工にあたっては、他の施工箇所 3.5m の 935 本と同じ機械での施工が可能となったため、鉄筋挿入機械のダウンサイジングを行い安価となった。

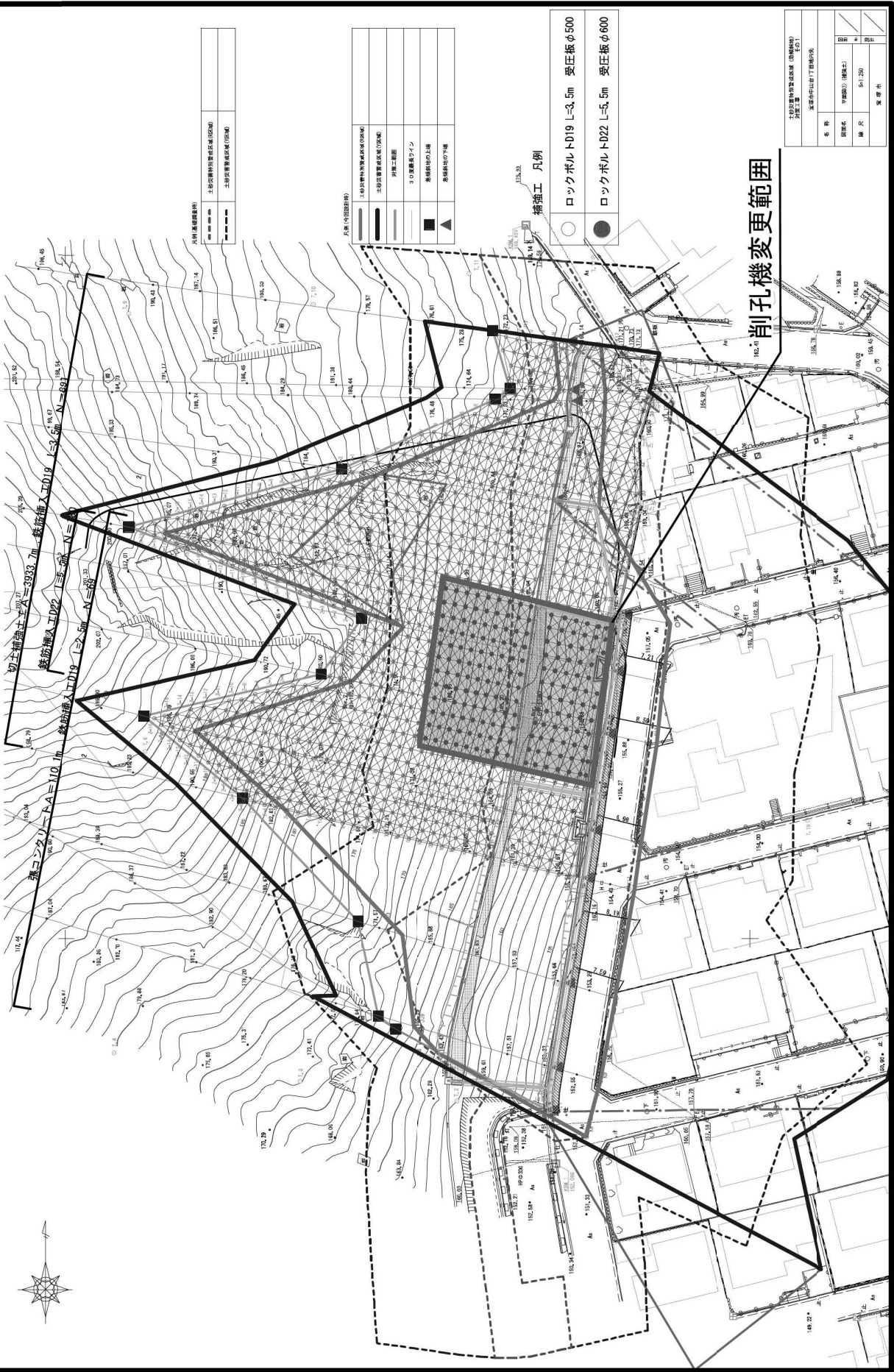
（2）補強土工におけるアンカー本数の減工（約 1,880 千円減）

当初計画では、張コンクリートの施工にあたり、地盤面以下となる最下段まで掘削するとして、施工中の斜面崩壊に対する安全率確保のため、補強土工の施工を予定していたが、現場施工にあたり、最下段までの掘削手順について一括掘削ではなく、部分掘削を繰り返すことで、安全率が確保できたため、地盤面以下となる最下段のアンカー 20 本を減工するものである。

（3）その他（約 1,050 千円増）

施工中に小崩落があった箇所について、緊急対策として崩落の進行を防止するため法面保護工を増工（約 102 m²）したほか、数量精査により増工する。

平面図① (補強土) S=1/250

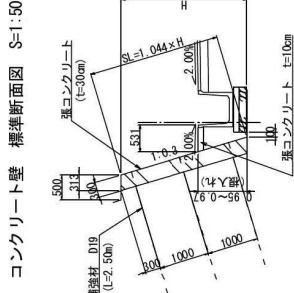
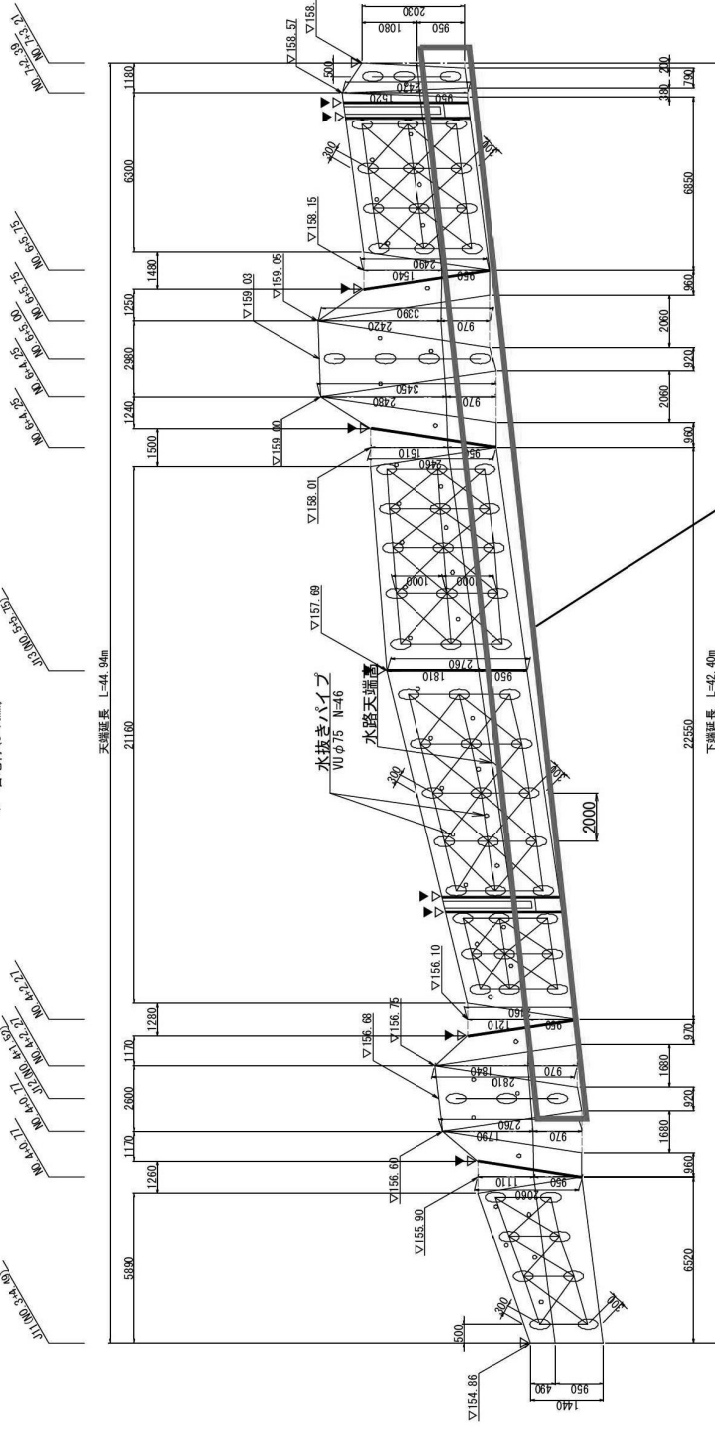


下部コンクリート壁ロックボルト配置 詳細図 縮尺図示

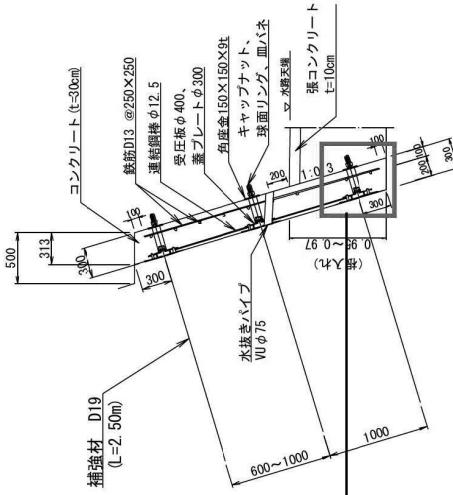
コンクリート壁 展開図 V=1:100 H=1:200 (A3)

▲ 型枠
△ 目地材 (t=10mm)

コンクリート壁 標準断面図 S=1:50



コンクリート壁 詳細図 S=1:25



地盤面以下20本減工箇所

D=150.00

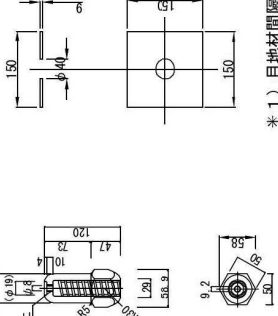
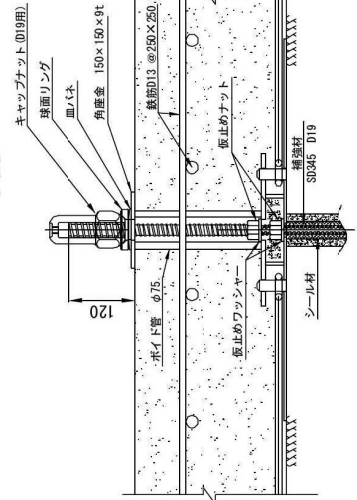
キャップナット(019用)
S=1:4

球面リング
80×83×16
亜鉛メッキ H0Z55 S=1:4

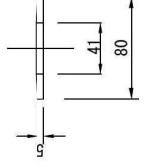
角座金 150×150×9t

角座金 150×150×9t

頭部断面図
S=1:5



皿ハネ 1枚使用 (30kN対応)
(80×41×5.0)
テフロンコート FBT-116 S=1:4



- * 1) 目地材間隔は20mm以下とする。
- * 2) 水抜きパイプ (VUφ75)は3本(2~4本)/m²を標準とする。

名称	下部コンクリート壁 ロックボルト (標準断面図)
縮尺	標準
製作者	
承認者	

土壌改良材料等使用区域 (必須事項)
加工工事詳細設計書表紙の1
監理 東京市山手1丁目事務所